

3月13日(日)に東京の学術総合センター(一橋講堂)にて開催する
第20回自然科学研究機構シンポジウム

「生命の起源と進化」 地球から系外水惑星へ
の参加お申し込みを受付中です。

お申し込みはまだ間に合いますのでぜひお早めどうぞ!

参加のお申し込みはこちらから↓

<http://www.nins.jp/sympo20.php>

皆さまのご参加をお待ちしております!

INDEX

1. 「第20回自然科学研究機構シンポジウム」参加申込受付中
2. 各研究機関のイベント情報
3. 最新の研究成果・ニュース
4. 編集後記

- 1. 「第20回自然科学研究機構シンポジウム」参加申込受付中

3月13日(日)開催の第20回自然科学研究機構シンポジウムへの
参加お申し込みを受け付けております。
また、今回のポスターや要旨集等も Web サイトに掲載しております。
ぜひ一度ご覧ください。

<http://www.nins.jp/sympo20.php>

<シンポジウム概要>

- ◆タイトル: 第20回自然科学研究機構シンポジウム
「生命の起源と進化」 地球から系外水惑星へ
<http://www.nins.jp/sympo20.php>

◆概要:

この広い宇宙、地球以外に生命を宿す星はあるのでしょうか?
また、そもそも地球における生命は、どう誕生し、どう進化してきたのでしょうか?
今回の自然科学研究機構シンポジウムは、「生命の起源と進化」を
題材として、機構にあらたに発足したアストロバイオロジーセンター
における「宇宙と生命」に関する融合研究を中心に、天文学、生物学、
分子科学などの視点で、地球および系外水惑星における生命の起源と
進化を考えます。

◆日時：2016年3月13日（日）13:00～17:30（開場 12:00）

◆会場：一橋講堂（講演用）及び中会議場2、3、4（展示用）
（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター）

◆参加費：無料（一般むけ公開シンポジウム）

◆申込方法：下記 Web サイトの専用の申込みフォームよりお申込みください。
<http://www.nins.jp/sympo20.php>

◆LIVE 配信：ニコニコ生放送及び USTREAM による LIVE 配信を行います
※上記 Web ページよりご視聴頂けるようになります。

◆主催：大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

◆プログラム：

12:00～

開場

～パネル展示（展示会場にて研究所紹介やミニトーク等）～

ABC ミニトーク（12:00～、12:30～）

“ダジック・アース”を使って宇宙から惑星を見てみよう！（展示会場ブースにて）

13:00～13:10

機構長挨拶

佐藤 勝彦（自然科学研究機構 機構長）

13:10～13:45

「生命を宿す惑星の成り立ちを考える」

玄田 英典（東京工業大学 地球生命研究所 特任准教授）

13:45～14:20

「水はどこから来たのか？－惑星系を伴う原始惑星系円盤の観測および円盤内の水や氷の観測」

橋本 淳（自然科学研究機構 アストロバイオロジーセンター 特任助教）

14:20～14:55

「地球型惑星を探せ！これからの系外惑星観測」

成田 憲保（自然科学研究機構 アストロバイオロジーセンター 特任助教）

14:55～15:25

休憩（30分）

～パネル展示（展示会場にて研究所紹介やミニトーク等）～

15:25～16:00

「極寒の南極で光合成をする生物たち」

小杉 真貴子（中央大学 助教）

16:00～16:35

「生命の謎に迫る人工細胞」

菅原 正（神奈川大学 教授）

16:35～17:10

「地球の覇者－昆虫の多様な世界」

新美 輝幸（自然科学研究機構 基礎生物学研究所 教授）

17:10～17:20

閉会挨拶

田村 元秀（自然科学研究機構 アストロバイオロジーセンター長）

※講演題目は全て仮題であり、講演者が変更する場合があります。

2. 各研究機関のイベント情報

◆4月2日（土）

岡山天体物理観測所 特別観望会 2016 春@岡山県浅口市

<http://www.oao.nao.ac.jp/public/event/sp2016s/>

※要申込（応募者多数の場合は抽選） 詳細は上記 URL をご覧ください

◆4月30日（土）

フュージョン・フェスタ in 東京（学術講演会&科学工作教室）@日本科学未来館

<http://www.nifs.ac.jp/welcome/tokyo2016/index.html>

3. 最新の研究成果・ニュース

【国立天文台】

◆銀河から吹き出す激しい風 - 銀河風の構造に刻まれた銀河合体とスターバーストの歴史 -

<http://www.nao.ac.jp/news/science/2016/20160204-subaru.html>

◆4次元デジタル宇宙ビューワー「Mitaka」多言語対応した最新版を公開

<http://www.nao.ac.jp/news/topics/2016/20160209-4d2u.html>

◆LIGOによる重力波の直接検出について

<http://www.nao.ac.jp/news/topics/2016/20160212-gw.html>

◆3月9日は部分日食

<http://www.nao.ac.jp/news/topics/2016/20160224-eclipse.html>

◆すばる望遠鏡が解明、本当に50億光年の彼方からやってきていた 謎の天体・高速電波バースト

<http://www.nao.ac.jp/news/science/2016/20160225-subaru-frb.html>

◆すばる望遠鏡、食べ散らかす赤ちゃん星の姿を捉える

<http://www.nao.ac.jp/news/science/2016/20160225-subaru-young-star.html>

◆アルマ望遠鏡、原始星円盤へのガス流入の詳細を明らかに

<http://www.nao.ac.jp/news/science/2016/20160303-alma.html>

◆126億光年彼方の宇宙で成長中の小さな銀河を多数発見～そしてすばるやハッブルで見えない世界へ～

<http://www.nao.ac.jp/news/science/2016/20160308-subaru.html>

【核融合科学研究所】

◆プラズマの乱れと熱の閉じ込めを予測する

- 最新鋭スーパーコンピュータで再現する LHD 重水素プラズマ -

http://www.nifs.ac.jp/lhdreport/mailinfo_268.html

【基礎生物学研究所】

◆神経膠腫（グリオーマ）治療に向けた新たな創薬戦略：PTPRZ 阻害剤の開発

<http://www.nibb.ac.jp/pressroom/news/2016/02/09.html>

◆RNG105 (Caprin1) 遺伝子のヘテロ欠損は「社会性の低下」、「目新しさへの反応（興味）の低下」、「状況変化への対応の低下」を引き起こす

<http://www.nibb.ac.jp/pressroom/news/2016/02/11.html>

◆着床前の胚において、決まりかけた細胞の運命が細胞間の相互作用によって変更される様子をライブイメージングにより観察することに成功

<http://www.nibb.ac.jp/pressroom/news/2016/02/16.html>

【生理学研究所】

- ◆褐色脂肪細胞においてエネルギー消費を促す新たなメカニズムを発見
—からだの熱産生に褐色脂肪細胞の TRPV2 チャンネルが関与—
http://www.nips.ac.jp/release/2016/02/_trpv2.html
- ◆辛みの認知と自律神経活動に関する大学等との共同研究成果について
http://www.nips.ac.jp/release/2016/02/post_315.html

【分子科学研究所】

- ◆人工光合成の実現に向けた酸素発生触媒の開発に成功
～植物に学ぶ触媒デザインで、植物の反応速度を大きく上回る～
https://www.ims.ac.jp/news/2016/02/12_3396.html
- ◆二本足で歩く分子モータータンパク質キネシンの足の動きを精細に可視化
https://www.ims.ac.jp/news/2016/03/01_3412.html

4. 編集後記

3月13日（日）開催の「第20回自然科学研究機構シンポジウム」まで、1週間をきりました。講演はもちろん、パネル展示（ブース展示）の準備も大詰めを迎えております。

今回は、当機構が新たに設立した「アストロバイオロジーセンター」の展示ブースが追加され、研究者によるミニトークも予定されております。（なおミニトークは、13:00の講演開始前の「12:00～」「12:30～」の2回の予定です。お越しいただく際にはご注意ください。）

また、今回の要旨集を第20回自然科学研究機構シンポジウム Web ページに掲載しました。ポスター・パンフレットもあわせて掲載しております。表紙は、今回のテーマ『「生命の起源と進化」 地球から系外水惑星へ』をモチーフにデザインされております。まだご覧になっていない方・・・ぜひご覧ください！（要旨集は当日会場にてご参加いただいた方に配付します）

今週の日曜日は、最前線で活躍する6名の研究者による講演、そして、展示会場での様々な企画をぜひお楽しみください。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

※ご参加の際には下記 Web サイトの専用の申込みフォームからお申し込みください
<http://www.nins.jp/sympo20.php>

最後までご覧いただき、ありがとうございました。
ご意見等ございましたら、nins-kikakurenkei@nins.jp までお寄せ下さい。

【自然科学研究機構シンポジウム・メールマガジン】

このメールマガジンでは、シンポジウムの情報に加えて、自然科学研究機構（NINS）や NINS の各研究機関（※）が開催する

イベント等の情報、そして最新の研究成果などをお伝えします。

(※NINS は、国立天文台、核融合科学研究所、基礎生物学研究所、
生理学研究所、分子科学研究所の5つの研究所から成り立ち、
自然科学研究の広い分野をカバーしています。http://www.nins.jp/)

発行者：自然科学研究機構 <http://www.nins.jp/>

発行システム：『まぐまぐ!』 <http://www.mag2.com/>

バックナンバー：http://www.nins.jp/public_information/mailmagazine.php

配信の中止・購読・バックナンバーはこちらから：

<http://www.mag2.com/m/0001498331.html>

Copyright(C)2016 NINS All rights reserved.
